

原文

指摘事由 イラク戦争の経緯について誤解するおそれのある表現である。

イラクの大量破壊兵器による攻撃を防ぐためと主張したが、国連憲章は先制攻撃を認めておらず、大量破壊兵器も発見されないため、国連は武力攻撃を支持しなかった。また、クラスター爆弾や放射性物質を含む劣化ウラン弾などが市民や子どもたちにまで大きな被害をおよぼしていることに、多くの人々は心を痛め、世界中で1000万人をこえる人々が戦争反対の意思を示した。こうしたなかで、ドイツ、フランス政府も戦争に反対した。

修正文

イラクの大量破壊兵器による攻撃を防ぐためと主張したが、国連憲章は先制攻撃を認めておらず、国連は武力攻撃を支持しなかった。その後、大量破壊兵器は発見されなかった。また、クラスター爆弾や放射性物質を含む劣化ウラン弾などが市民や子どもたちにまで大きな被害をおよぼしていることに、多くの人々は心を痛めた。世界中で1000万人をこえる人々が戦争反対の意思を示し、こうしたなかで、ドイツ、フランス政府も戦争に反対した。